

日曜参観ご出席 ありがとうございました



5・6年生も、岩崎さんのお話をお聞きしました。

山の小鳥

山の小鳥



津木小学校から保護者の皆様へのおたより 三十三号
平成二十四年三月

二月五日（日）。寒い中、多数ご出席いただき、誠にありがとうございました。
参観・親子レクのあと、恒例の講演会。
今回は、岩崎順子さんをお招きして、「97才のおじいちゃんも、昔は赤ちゃん」と題してのご講演をお聞きしました。

◆（前略）その話を聞いて頂くは、順子さんが自転車に乗れなかった時、おじいちゃんがいつしうけんめいに乗り方とかをじょうずに教えてくれています。順子さんはうれしかったと思います。だけど、教えたおじいちゃんも、教えられてうれしかったと思います。他にも順子さんは、水泳を教えてもらって、体育の時間はいいやと言っていました。おじいちゃんに教えてもらった水泳は、みんなよりよく泳げて、すごいと思いました。

（中略）

おじいちゃんといっしょに住んでいたおばあちゃんは、「にんちしう」「うつばよう」という病氣にかかって、気の強い人が、まるで人が変わったように、その病氣のせいで、ずっと泣いていたのが、かわいそうだと思いました。そこへ、いつもしかついていたおじいちゃんが、おばあちゃんの背中をなでなでして、やさしいなあと思いました。

最後に、順子さんは、もし昨日まで元気だったけれど、病院へ運ばれて、病院の人が、「もう助けることはできません。けど、あと1分半は、話が聞けます。」と言われた時、何を言うか考えてと言いました。目を閉じて、心の中で言いました。ぼくは、順子さんが言われていたように、心の中で言ったことを絶対に忘れないようにしたいです。

（五年 東野）

◆（前略）席にすわっている岩崎さんを見ると、とても笑顔がすてきな人だと思いました。話を聞いていると、おじいさんとご主人を亡くしているのが、私には考えられませんが、もし私がそうになったら、落ちこんでばかりだと思っています。でも、岩崎さんは、落ちこんでばかりじゃなくて、本を出したり、講演を何回もしたりしてすごいと思いました。

岩崎さんの話を聞いてみると、とてもなみだぐむ事がいっぱいありました。岩崎さんが言っていたように、ゲームには死んだり、生き返ったり、くりかえして戦うゲームがあります。私も、命はかんたんなものではないということが分かりました。

私が、一番心に残っているのは、一人の子をきずつけると、その子のご先祖様もきずつける事にもなるから、それはだめだと思いました。だから、人には親切にして、悪口やいじめをしないようにしたいです。

話を聞いて、一人一人の命は、とても大事なことが分かりました。お母さんが持っている「ガン」が病氣じゃなくなるとき「を」読んでみたいと思いました。

（六年 松岡）

